

## 行政評価調書

事務事業名	商工祭	評価初年度	平成 28 年度
実施主体	商工祭実行委員会	担当部署名	産業経済部商工課
第6次総合計画上の施策項目		事業の根拠法令等	
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	コード	2
中項目	活力あふれる産業の振興	種類	1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 5
小項目	商業の振興	名称	

### 1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	昭和51年度	②事業の完了予定の有無（有／無）	無	年度
③事業の概要 （概要）商工祭・農業祭の合同で実施される水戸市産業祭は、水戸市の商工業および農業を広く市民に紹介し、その振興・発展と、市民生活の向上を目的に開催するものであり、各事業者の地場産品の展示即売や、JAによる新鮮野菜の販売、飲食コーナーや各種展示、ステージイベントなどを実施している。 （主催）産業祭実行委員会、商工祭実行委員会（市補助金）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に	対象者（平成28年4月1日） 市民 約27万人			
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市産業祭（商工祭）の開催を通して、市民の産業への関心を高めるほか、市内事業者へ各事業等のPRの場を提供するなどし、産業振興を図る。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標2				
指標	前年より売り上げの増加した店舗数 ※出店者アンケート	説明	各年度における売り上げの増加店舗数 ※出店者アンケート	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 水戸商工会議所が事務局となり、実行委員会が主催。 市からの補助金のほか、会員から出展料を徴収し運営費としている。 会場設営等を会議所会員に委託し、費用を抑えるなど、効率的な運営に努めている。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 水戸市産業祭（商工祭）は開催回数が40を超え、市内事業者のPRの場として定着し、毎年一定の来場や出展があるほか、水戸市の産業をコンセプトに開催されるイベントはほかに存在しないため必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 毎年、一定の来場や出展があり、協同組合等の出展による、この場でしか受けられないワークショップ等の独自サービスもあるため、産業への関心を高めるイベントとして有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 内原ふれあいまつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO） 市の産業振興にコンセプトを絞って開催されるイベントであるため、市内事業者と密接な関係にある水戸商工会議所が事務局であるのが効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 前年より売り上げの増加した店舗 ※出店者アンケート		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25 年度	65,000	85,000	130.8	10	11	110.0
26 年度	85,000	82,000	96.5	11	17	154.5
27 年度	30,000	33,000	110.0	5	1	20.0
28 年度	33,000	42,000	127.3	1	8	800.0
29 年度	42,000	53,000	126.2	8	8	100.0
30 年度	53,000		0.0	8		0.0
31 年度						
①目標値の根拠	来場者数前年度以上			売り上げの増加した店舗前年度以上		
②数値で表せない効果	・市内産業の振興					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）			②単位当たりの行政コスト （①行政コスト/成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）	支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費	36.47
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
H 26 決算	国県支出金		旅費	37.80
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
H 27 決算	国県支出金		旅費	93.94
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
H 28 決算	国県支出金		旅費	73.81
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
H 29 決算	国県支出金		旅費	58.49
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
H 30 決算	国県支出金		旅費	#DIV/0!
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	3,100	役務費	
			委託料	
	3,100		使用料・賃借料	
		その他	3,100	
R 元 予算	国県支出金		旅費	
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源		役務費	
			委託料	
		使用料・賃借料		
		その他		

③コスト削減の取組

商工会議所青年部の協力や学生ボランティア等を活用するほか、来場者駐車場の整備等を事務局等で実施し、経費削減に努めている。

4 1年目評価

(1) 1次評価(内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が必要である。
○	④対象者のニーズが高い事業である。	・1-⑦必要性	市内事業者が事業PRする場所として積極的に参加している。
○	⑤民間、NPO等に類似事業はない。	・1-⑨類似事業	産業をコンセプトに開催されるイベントはない。
合計		評価結果	A
3	点		

事務事業の評価

有効性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	・1-③有効性 ・2-成果指標	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が有効である。
	③成果指標の実績が目標に達している。	・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	・1-④事業の目的	全市民を対象にしたイベントである。
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート	市内事業者と密接に関わっている水戸商工会議所が事務局を担うことにより、市内事業者の出展等がスムーズに行われている。
合計		評価結果	A
3	点		

効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調査の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	会場設営の一部や来場者駐車場の整備などを事務局等で実施し、できる限り費用の掛からないように考慮している。
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	水戸商工会議所が事務局を担うことにより、労力を要する出展調整がスムーズに行われている。
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計		評価結果	B
2	点		

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒	うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性				
1 現状のまま継続				
2 見直しの上で継続				
ア 主体を代える（実施主体を代える）				
イ ○ 手段を改善する（実施の手段を代える）				
ウ 効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）				
エ 簡素化する（規模を縮小する）				
オ 統合する（類似事業を統合する）				
3 休止、廃止				

②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）  
 屋外でのイベントであるため、来場者数は天候により大きく左右されてしまう。  
 今後は、単位当たりの行政コストの削減が図られるよう、更なる集客に向けたPRや情報発信に努めるとともに、来場しやすい開催場所の検討を進める。

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>評価する点、改善すべき点              商工祭は、商業の振興・発展と市民生活の向上を目的とした、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催されている。              本イベントについては、商業者と市民との交流の場として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。              しかしながら、農業祭と同様の観点から、来場者が8万人を超える中、天候や駐車場によって集客に影響される状況は課題であり、担当課が十分認識しているように、開催場所の検討が必要である。アンケート結果や出店者・来場者の意向を踏まえた上で、適切な開催場所を選定していくべきである。              また、イベントに要する費用は、市からの補助金、出店者からの出店料、JA水戸の分担金及び商工会議所の負担金で構成されるが、分担金は、農業祭との合同開催により発生する共通経費分であることから、JA水戸が負担するのではなく、農業祭実行委員会が負担すべきものと考えられ、費用負担のあり方を検討するべきである。また、市の補助金額が毎年度同額であることから、積算根拠を明確にするなど妥当性について検証が必要である。              目標設定についても、イベント来場者数の目標は農業祭と商工祭で異なるが、実績は産業祭として同じ実績になっている。そのため、農業祭実行委員会と協議して、目標設定の統一を図るべきである。              広報についても、新聞の折り込みや市立幼稚園・小学校へのチラシの配布を行ったとのことであるが、その他にも水戸市のホームページ、SNSなどを通じた広報などにより、新聞を購読していない若者への周知を図るとともに、農業祭と連携をしながら、水戸市民にとどまらず、茨城県民や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討するべきである。              そのため、1次評価の「見直しの上で継続（手段を改善する）」は、妥当である。              なお、農業祭及び商工祭は、合同で産業祭として実施されているイベントであり、二つのイベントを分けて審議することが難しいことから、次年度以降の評価のあり方について検討するべきである。特に収支報告については、産業祭としてのものを用意した上で、農業祭と商工祭単独のものを作成してもなお不公平や矛盾が生じないように、対応を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続（手段を改善する）
<p>商工祭は、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催され、商業者と市民との交流の場として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。              しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、天候や駐車場によって集客に影響が出る状況は課題であるため、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、開催場所を検討する必要がある。              また、イベントに要する費用については、市からの補助金が毎年度同額であることから、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要がある。              来場者数の目標設定については、農業祭実行委員会と協議して統一を図る必要があるほか、広報についても、市外や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討する必要がある。              そのため、「見直しの上で継続（手段を改善する）」とする。              なお、次年度以降の評価方法については、行政評価委員会からの意見にあるとおり、産業祭としての収支報告も作成した上で、農業祭と合同で評価を行うなど、検討するものとする。</p>	

※2次評価に記載のある「分担金」について

分担金については、農業祭及び商工祭に共通してかかる経費であり、農業祭実行委員会（事務局：JA水戸）から商工祭実行委員会（事務局：商工会議所）へ支出している。なお、主なものとして、警備費用、ステージ設営費用、電気設備費用等がある。

現在、JA水戸名義で分担金の振込を行っており、2次評価において、農業祭実行委員会名義で振込を行うことについて指摘を受けたところである。しかし、実際は、農業祭実行委員会から支出していることから、今後は、振込名義をJA水戸から農業祭実行委員会に修正するものとする。

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	農業祭との合同開催であるため、農業祭実行委員会と協議し、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、来場者及び出店者の利便性が向上するように、開催場所を検討するとともに費用対効果を検証する。また、来場者数の目標設定について統一を図るとともに、効果的なPR方法を検討する。
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況 平成28年度について、1年目改善目標である開催場所の検討を行った結果、天候等によって集客に影響があることは懸念されるものの、水戸駅から近く公共交通の利便性が良いこと、まちなかのにぎわいに寄与すること、雨天時の水はけが良いことなどの条件等を考慮し、茨城県三の丸庁舎イベント広場で開催した。なお、農業祭実行委員会との協議及び来場者からのアンケート結果より、来場者駐車場等についての意見があったものの、開催場所はおおむね好評であったと評価することから、更なる来場方法の確保を検討しつつ、本年度も引き続き、同場所での開催に向けて各種手続を進めることとする。 費用対効果としては、産業祭来場者アンケート等から計算した経済波及効果が105百万円（来場者消費額等から算出）あり、一定の効果があつたと考える。 目標数(来場者数)については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会と協議し、今年度から統一を図った。 イベントPRの手法としては、平成28年度から民間事業者に協力を依頼し、タウン誌へ掲載を行ったほか、市や商工会議所のSNS等の活用による各種広報を強化した結果、来場者数が増加した。
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
○特記事項（行政評価委員会からの指摘事項など） 商工祭は、昨年度の評価を受け、開催場所の検討、費用対効果の検証、農業祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を改善目標として掲げているところである。 このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、概ね好意的なアンケート結果であったこと、来場者数の目標設定の統一については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会において協議して統一を図ったこと、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化したことなどが認められた。 しかしながら、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さく、これに対する合理的な理由が見いだされていないと思われる。分担金を含めた費用負担のあり方については、実行委員会ではこれまで特に課題となってきたところであるが、市民に対して説明責任を果たすためには、費用負担の割合を取り決めするなど根拠を明確にするべきである。 このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>商工祭は、開催場所の検討、費用対効果の検証、商工祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を2年目評価における改善目標としている。</p> <p>このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、おおむね好意的なアンケート結果であった。また、来場者数の目標設定の統一については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会において協議して統一を図った。さらに、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化した。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さいなど、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の費用負担の割合の根拠が不明確であることから、費用負担の割合を取り決めするなど根拠を明確にする必要がある。</p> <p>このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議・決定するなど、明確化に努める。

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合を決定した。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>商工祭は、昨年度の評価を受け、分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議、決定するなど、明確化に努めることを改善目標として掲げているところである。</p> <p>このため、今年度の産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合が決定されたとのことである。</p> <p>しかしながら、昨年度の評価では、市民に対して説明責任を果たす観点から、両委員会の費用負担の根拠の明確化が課題とされたところであるが、両者間の合意による決定のみで、根拠が明確になったものではない。そのため、出店者等の関係者はもちろんのこと、市民が理解できる形で、根拠の明確化を図るべきである。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>商工祭は、分担金を含めた共通経費に係る費用負担について、産業祭実行委員会において協議、決定するなど、明確化に努めることを3年目評価における改善目標としている。</p> <p>このため、今年度の産業祭実行委員会において、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い、平成30年度産業祭の負担割合を決定した。</p> <p>しかしながら、昨年度の評価において市民に対して説明責任を果たす観点から、両委員会の費用負担の根拠の明確化を課題としたところであるが、両者間の合意による決定のみで、根拠が明確になったものではない。そのため、出店者等の関係者はもちろんのこと、市民が理解できる形で、根拠の明確化を図る必要がある。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	産業祭実行委員会において協議、決定している共通経費等の費用負担について、説明責任を果たす観点から、根拠の明確化に努める。

10 4年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

○見直しの状況など事務事業の現況  
 共通経費の費用負担の根拠については、産業祭決算額における商工祭、農業祭のそれぞれ占める割合に応じた額を負担することに決定した。これを受け、農業祭が負担する分担金については、会場設営費や広報宣伝費などの共通経費約180万円のうち、産業祭決算額に占める農業祭の割合(おおよそ3割)に相当する55万円とする。今後、共通経費の大幅な増減が発生した場合は、分担額の見直しを行う。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

11 4年目改善目標(4年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--





## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※商工祭の事業費内訳

## (収入)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 補助金	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,313,000	2,592,000	2,350,000	279,000	出店数が増加したため
3 負担金	450,415	347,026	1,385,964	2,187,373	2,801,268	2,800,311	2,800,000	-957	
4 賛助金									
5 雑収入									
6 農業祭からの分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,764,268	9,042,311	8,800,000	278,043	

## (支出)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 会場設営費	3,486,225	3,527,920	4,814,944	5,089,919	4,979,450	5,751,380	5,320,000	771,930	
①設営費	2,950,000	2,985,000	4,420,000	4,650,000	4,650,000	4,999,080	4,500,000	349,080	会場変更により屋外テント設営等が増加したため
②工事費	227,000	237,600	394,944	435,120	312,000	540,000	500,000	228,000	体育館内の音響設置のため
③賃貸料	309,225	305,320		4,799	17,450	212,300	320,000	194,850	会場変更により賃借料が増加したため
2 イベント費	1,381,705	1,305,100	1,227,255	1,272,254	1,296,218	1,277,893	1,573,000	-18,325	
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	567,453	456,105	562,000	-111,348	チラシ作成費用が下がったため
4 会議費	4,288		2,920			3,480	10,000	3,480	
5 管理運営費	1,046,252	1,011,246	869,236	1,042,343	1,588,853	1,148,396	1,142,000	-440,457	
①警備費	569,100	561,600	399,175	676,653	1,169,873	722,338	700,000	-447,535	会場変更により警備員数が減ったため
②諸費	477,152	449,646	470,061	365,690	418,980	426,058	442,000	7,078	
6 事務局費	258,085	218,146	114,752	161,320	332,294	405,057	193,000	72,763	
①印刷費	114,450	134,420	25,920	25,920	190,960	198,800	100,000	7,840	
②通信費	27,100	13,002	16,632	29,406	13,308	22,173	25,000	8,865	
③消耗品費	116,535	70,724	58,380	103,801	123,176	58,987	60,000	-64,189	
④雑費			13,820	2,193	4,850	125,097	8,000	120,247	紛失した会場用備品を購入したため
7 予備費									
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,764,268	9,042,311	8,800,000	278,043	

## (収支)

	金額(円)						
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算
合計							

## (別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※産業祭全体の事業費内訳

## (収入)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 補助金	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,313,000	2,592,000	2,350,000	279,000	出店数が増加したため
3 負担金	588,969	479,189	1,496,444	2,298,358	2,801,268	2,800,311	2,800,000	-957	
4 賛助金	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
5 雑収入					98,526	97,160	100,000	-1,366	
合計	9,582,969	9,385,689	10,322,944	10,869,858	11,612,794	11,889,471	11,650,000	276,677	

## (支出)

科目	金額(円)							増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算		
1 会場設営費	4,330,725	4,391,662	5,576,182	5,974,061	5,873,312	6,632,822	6,220,000	759,510	
①設 営 費	3,674,500	3,728,742	5,181,238	5,534,142	5,543,862	5,880,522	5,400,000	336,660	会場変更により屋外テント設営等が増加したため
②工 事 費	227,000	237,600	394,944	435,120	312,000	540,000	500,000	228,000	体育館内の音響設置のため
③賃 貸 料	429,225	425,320		4,799	17,450	212,300	320,000	194,850	会場変更により賃借料が増加したため
2 イベント費	3,015,660	2,916,122	2,978,948	2,910,663	2,809,515	2,768,223	3,133,000	-41,292	
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	567,453	456,105	562,000	-111,348	
4 会 議 費	67,748	37,907	71,050	64,000	65,437	44,736	80,000	-20,701	
5 管理運営費	1,046,512	1,013,326	869,236	1,042,343	1,612,143	1,148,396	1,172,000	-463,747	
①警 備 費	569,100	561,600	399,175	676,653	1,191,473	722,338	730,000	-469,135	会場変更により警備員数が減ったため
②諸 費	477,412	451,726	470,061	365,690	420,670	426,058	442,000	5,388	
6 事務局費	604,464	585,558	394,171	435,754	587,852	839,189	483,000	251,337	
①印 刷 費	166,050	186,020	68,320	74,520	270,060	278,100	180,000	8,040	
②通 信 費	27,660	13,734	25,619	30,964	13,308	22,173	35,000	8,865	
③消耗品費	288,314	270,184	191,532	220,647	207,319	321,834	160,000	114,515	事務用品等の購入が増加したため
④雑 費	122,440	115,620	108,700	109,623	97,165	217,082	108,000	119,917	紛失した会場用備品を購入したため
7 予 備 費					97,082			-97,082	
合計	9,582,969	9,385,689	10,322,944	10,869,858	11,612,794	11,889,471	11,650,000	276,677	

## (収支)

科目	金額(円)						
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度予算
合計							

産業祭における農業祭分担金(55万円)について

共通経費内訳

項目	第41回決算 (H28年度)	第42回決算 (H29年度)	第43回決算 (H30年度)	主な用途
1. 会場設営費(全体)	5,974,061	5,873,312	6,632,822	-
内訳	商工祭負担分	4,330,000	4,530,000	小間, テント, 電気工事
	農業祭負担分	884,142	893,862	テント, 看板設営費等
	共通経費	759,919	449,450	ステージ設営費, 会場使用料等
2. 広報宣伝費(全体)	443,037	567,453	456,105	-
内訳	商工祭負担分	250,797	286,653	商工祭出店者募集案内等
	農業祭負担分	0	0	-
	共通経費	192,240	280,800	案内チラシ作成等
3. 管理運営費(全体)	1,042,343	1,612,143	1,148,396	-
内訳	商工祭負担分	365,690	420,670	ゴミ処理, 保険等
	農業祭負担分	0	23,290	共進会テント夜間警備, 保険等
	共通経費	676,653	1,191,473	会場・駐車場等警備
共通経費合計	1,628,812	1,921,723	1,736,638	-

	産業祭(合計)	商工祭	農業祭
第41回決算 (H28年度)	10,869,858	7,458,873	3,410,985
	100%	68.62%	31.38%
第42回決算 (H29年度)	11,612,794	8,214,268	3,398,526
	100%	70.73%	29.27%
第43回決算 (H30年度)	11,889,471	8,492,311	3,397,160
	100%	71.43%	28.57%

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸市産業祭

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
高工祭実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報, マスコットキャラクター等
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成30年度実績 (開催日: 11月17日, 18日)

人数	主な業務
市職員	5人程度
実行委員会	16人程度
委託会社職員	14人程度
ボランティア (青年部)	30人程度
計	65人程度

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成30年度実績

年月	内容
平成30年5月	第1回ワーキング会議
平成30年7月	第2回ワーキング会議
平成30年8月	商工祭実行委員会
平成30年9月	産業祭実行委員会 (商工祭+農業祭)
平成30年11月	第43回産業祭

(これまでの開催実績)

年月日	第〇回	会場名	参加者数 (人) (A)	係員数 (人) (B)	総数 (人) (A+B)
26年11月15日, 16日	39	水戸市総合運動公園	82,000	65	82,065
27年11月14日, 15日	40	千波公園ふれあい広場	33,000	65	33,065
28年11月14日, 15日	41	茨城県三の丸庁舎イベント広場	42,000	65	42,065
29年11月25日, 26日	42	茨城県三の丸庁舎イベント広場	53,000	65	53,065
30年11月16日, 17日	43	青柳運動公園	69,000	65	69,065

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	補助額 (千円)	備考
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H28年度	8,400	30	8,430	2,900	1日開催
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H29年度	-	-	-	2,900	1日開催 予定だったが荒天中止
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H30年度	8,500	30	8,530	2,600	1日開催
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H28年度	44,000	54	44,054	3,800	2日間開催
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H29年度	102,000	54	102,054	3,800	2日間開催 (会場変更有: 桜アリーナ)
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H30年度	111,000	59	111,059	3,700	2日間開催

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数 (市町村職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

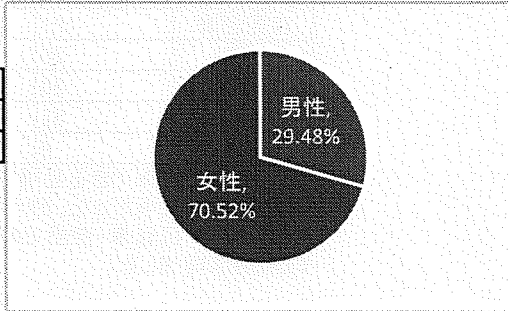
# 第43回水戸市産業祭来場者アンケート集計結果

調査日時	平成30年11月17日(土)・18日(日)の産業祭開催時間中		
調査方法	学生アルバイトによる来場者への聞き取り調査 ※回答者にはみとちゃんシールを配布		
調査場所	産業祭会場内各所		
サンプル数	268		

## 1. 来場者について

### ①性別

男性	女性
79	189
29.48%	70.52%



▲男女比

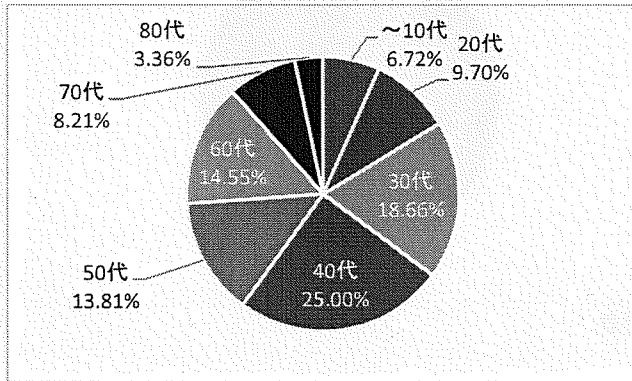
### 《比較対象(前年度)》

男性	32.67%
女性	67.33%

※割合は前年とほぼ変わらなかった。

### ②年齢層

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
18	26	50	67	37	39	22	9
6.72%	9.70%	18.66%	25.00%	13.81%	14.55%	8.21%	3.36%



▲年齢構成比

### 《比較対象(前年度)》

～10代	16	5.33%
20代	19	6.33%
30代	51	17.00%
40代	69	23.00%
50代	49	16.33%
60代	58	19.33%
70代	35	11.67%
80代	3	1.00%

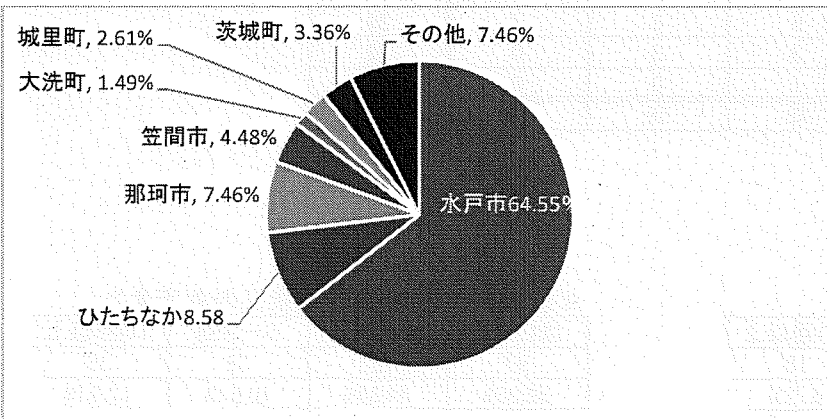
※昨年に引き続き、40代が最も多い結果。20～40代の割合は増加、50～70代の割合が減少した。

### ③居住地

水戸市	ひたちなか市	那珂市	笠間市	大洗町	城里町	茨城町	その他
173	23	20	12	4	7	9	20
64.55%	8.58%	7.46%	4.48%	1.49%	2.61%	3.36%	7.46%

### ※その他内訳

鉾田市	日立市	行方市	桜川市	石岡市	東海村	小美玉市	阿見町
2	6	1	1	3	3	1	1
松戸市	いわき市						
1	1						



▲居住地割合

### 《比較対象(前年度)》

水戸市	213	71.00%
ひたちなか市	29	9.67%
那珂市	6	2.00%
笠間市	8	2.67%
大洗町	3	1.00%
城里町	4	1.33%
茨城町	8	2.67%
その他	29	9.67%

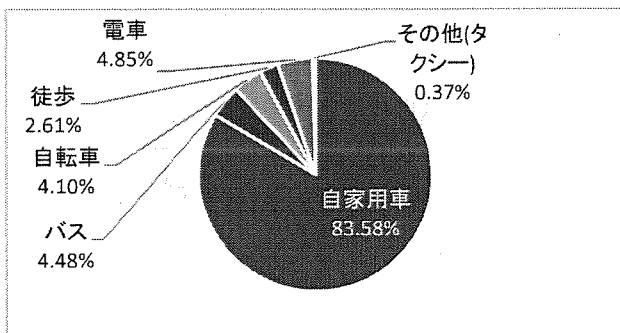
※昨年と比べ、水戸市内からの来場が6割となり、減少がみられた。かわりに、那珂市など、市外からの来場が増加した。

来場者の内訳では、女性が約7割。年齢層は40代が最も多く、30代、60代と続く。また、水戸市からの来場者が約6割を占めている。性別については女性が増加。居住地は水戸が減少し、那珂市などからの来場者が増加した。

## 2. 来場の形態について

### ①会場までの交通手段

自家用車	バス	自転車	徒歩	電車	その他(タクシー)
224	12	11	7	13	1
83.58%	4.48%	4.10%	2.61%	4.85%	0.37%



▲交通手段

### 《比較対象(前年度)》

自家用車	191	63.67%
バス	28	9.33%
自転車	20	6.67%
徒歩	52	17.33%
電車	9	3.00%

※駐車場が確保できる会場であったため、8割は自家用車での来場だった。昨年と比べ、公共交通機関等の利用や自転車・徒歩での来場は減少。電車での来場は増加した。

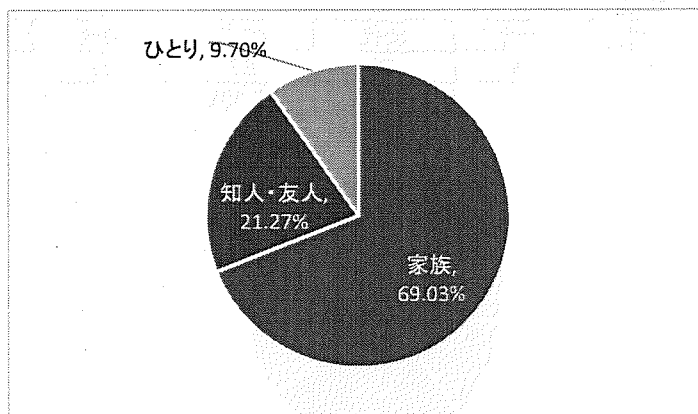
### ②同伴者について

家族	知人・友人	ひとり
185	57	26
69.03%	21.27%	9.70%

### 《比較対象(前年度)》

家族	知人・友人	ひとり
198	48	54
66.00%	16.00%	18.00%

※前年と比べ、知人・友人との来場が減少し、家族での来場が増加。ひとりでの来場に変動はなかった。



▲同伴者

### ③-1同伴人数(自身を含む)

1名	2名	3名	4名	5名	不明・未記入
23	88	58	50	49	0
8.58%	32.84%	21.64%	18.66%	18.28%	0.00%

### ③-2年齢層別同伴人数

	1名	2名	3名	4名	5名以上	合計
～10代	1	5	5	0	7	18
20代	6	11	6	2	1	26
30代	1	8	13	17	11	50
40代	3	14	15	21	14	67
50代	4	11	9	4	9	37
60代	3	20	6	3	7	39
70代	2	14	3	3	0	22
80代	3	5	1	0	0	9
	23	88	58	50	49	268

### ④-1水戸市産業祭来場回数

はじめて	2～5回	6～9回	10回以上
102	116	32	18
38.06%	43.28%	11.94%	6.72%

※前年と比べ、はじめての来場が減少。2～5回の来場が最も多かった。

### 《比較対象(前年度茨城県三の丸庁舎)》

はじめて	2～5回	6～9回	10回以上
97	133	32	38
32.33%	44.33%	10.67%	12.67%

#### ④-2年齢層別来場回数

	はじめて	2~5回	6~9回	10回以上	合計
~10代	10	8	0	0	18
20代	14	11	0	1	26
30代	23	25	2	0	50
40代	35	25	6	1	67
50代	8	20	7	2	37
60代	6	17	11	5	39
70代	6	6	3	7	22
80代	0	4	3	2	9
合計	102	116	32	18	268

来場形態をみると、自家用車での来場が増加、約8割となった。今回の会場は無料の駐車場が会場に隣接して確保できたこともあり、来場者・出店者から利用しやすいとの声があった。昨年と比べ、公共交通機関や徒歩・自転車での来場割合は減少、電車での来場は増加した。また、家族・ひとりでの来場が減少し、知人・友人との来場が増加した。

### 3. 買物について

#### ①買物の有無

した	しない	不明
210	53	5
78.36%	19.78%	1.87%

#### ②買物の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5000~6,999	7,000~9999	10,000以上	無回答
27	110	22	12	3	3	32
12.92%	52.63%	10.53%	5.74%	1.44%	1.44%	15.31%

#### ③年齢層別購入金額(買物をしたと答えた方の購入金額) 単位:円

	~999	1,000~2,999	3,000~4,999	5000~6,999	7,000~9999	10,000以上	平均購入額
~10代	7	3	0	1	0	0	1,073
20代	3	10	0	0	0	0	1,369
30代	6	20	8	1	0	0	1,877
40代	5	22	5	2	0	2	2,703
50代	1	18	4	1	0	1	2,652
60代	2	17	5	4	1	0	2,545
70代	3	14	0	2	1	0	1,730
80代	0	6	0	1	1	0	2,750
合計	27	110	22	12	3	3	2,199

#### ④買ったもの(複数回答可)

野菜	日用品	菓子	バザー用品	食品	飲み物	乳製品	酒
112	22	57	10	119	51	14	9
絵細工・バルーンアート	その他						
11	20						

来場者のうち約8割が、会場内で買物をしている。  
買物金額は、1,000円~2,999円が最も多く、3,000円未満が全体の約7割を占める。  
また、40代の平均購入額が最も高い。  
購入物については、食品・野菜の順で続く。

### 4. 食事について

#### ①食事の有無

した	しない	不明
195	64	9
72.76%	23.88%	3.36%

#### ②食事の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5000~6,999	7,000~9999	10,000以上	無回答
38	91	18	6	0	0	42
24.84%	59.48%	11.76%	3.92%	0.00%	0.00%	27.45%

※年齢層別食事金額(食事をしたと答えた方の食事金額)

	～999	1,000～2,999	3,000～4,999	5,000～6,999	7,000～9,999	10,000以上	平均購入額
～10代	4	6	1	0	0	0	1,150
20代	3	11	1	0	0	0	1,233
30代	5	19	5	2	0	0	1,827
40代	10	24	4	2	0	0	1,576
50代	5	17	2	0	0	0	1,296
60代	8	8	4	2	0	0	1,927
70代	3	5	0	0	0	0	1,194
80代	0	1	1	0	0	0	2,000
合計	38	91	18	6	0	0	1,555

来場者の7割が会場内で食事をしている。  
 食事の金額は、1,000円～2,999円が最も多かった。  
 また、食事の金額については、年齢層別で80代が最も多かった。

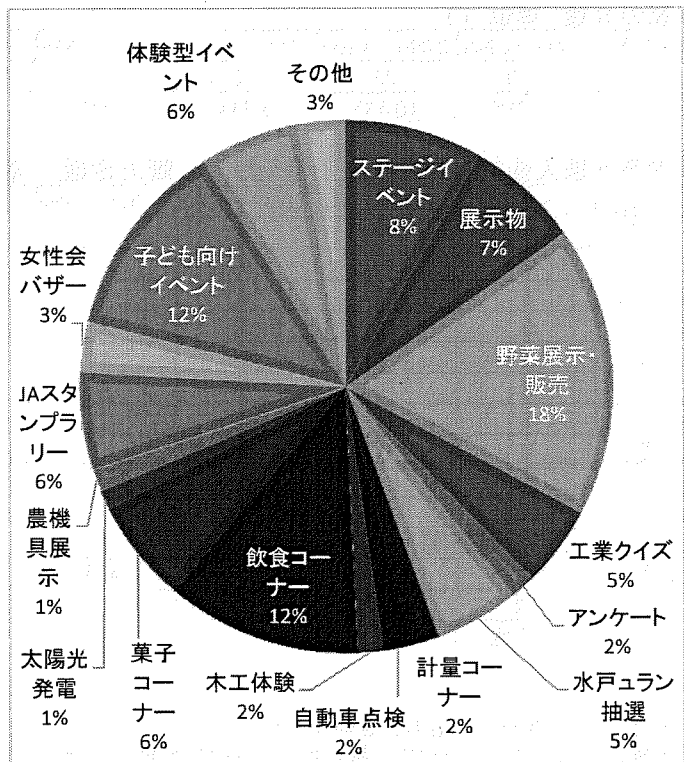
5. 会場内で興味をもったもの(複数回答可)

ステージイベント	展示物	野菜展示・販売	工業クイズ	アンケート	水戸ユラン抽選	計量コーナー	自動車点検	木工体験
49	41	104	29	9	30	10	10	9
飲食コーナー	菓子コーナー	太陽光発電	農機具展示	JAスタンプラリー	女性会バザー	子ども向けイベント	体験型イベント	その他
70	37	7	8	35	18	71	36	17

※ステージイベント内訳

バルーンアート	常盤チア	バンド演奏	よさこい	水戸黄門まつり太鼓	アイドル	ブルービギナース	不明
2	3	2	1	1	2	6	32

会場内で興味を持ったものとしては、野菜展示・販売と子ども向けイベント・飲食コーナーが多かった。  
 次いで、ステージイベント・展示物・菓子コーナー・JAスタンプラリーの人気も高い。



▲会場内で興味を持ったもの

6. 開催場所について

青柳公園市民体育館	東町体育館	水戸市総合運動公園	その他
193	4	68	3
64.33%	1.33%	22.67%	1.00%

駐車場の確保が可能である青柳公園市民体育館・水戸市総合運動公園の割合が多かった。

7. 産業祭への要望等

■会場・駐車場について

・会場から駐車場が近く、広いので便利(同様15通)

■会場・設備について

・食事できるスペース(イス・テーブル)を増やしてほしい。(同様4通)

■イベントについて

・キャラクター、ヒーローショーをやってほしい(同様5通)



## 第43回水戸市産業祭(商工祭部門)出店者アンケート集計結果

調査日時	平成30年11月28日～12月3日		
調査方法	産業祭(商工祭部門)出店者へFAXにて調査書を送付		
サンプル数	27	屋外	屋内
		16	11

### 1. 次年度開催場所について(複数回答可)

青柳運動公園	水戸市総合運動公園	東町体育館	その他	無回答
17	4	2	0	4

#### [結果]

次年度開催場所については参加店の約6割が屋内会場が設営でき、来場者用の無料駐車場の確保が期待できる「青柳公園市民体育館」と回答した。

### 2. 今回の売上について(昨年と比較して)

多い	少ない	昨年度出店なし	無回答
19	4	2	2

#### [結果]

2日とも天候に恵まれ、来場者駐車場が確保できたこともあり、昨年と比べ、売り上げが多いと回答する出店者が7割を占めた。

### 3. 産業祭開催にあたって独自に企画した・検討している事項について

- ・サンプル品の提供(同様2通)
- ・店頭価格に比較して割引販売(同様7通)
- ・オリジナル商品の販売・展示(同様4通)
- ・クイズ、アンケート実施による啓発(同様2通)
- ・集客のため抽選会などの開催。(同様2通)
- ・購入者へのプレゼント(同様2通)

### 4. イベント企画について

- ・知名度ある人を呼んでほしい。(同様2通)
- ・キャラクターショー、ヒーローショーをやってほしい。(同様3通)
- ・キッズダンス、ソーラン節など人が呼べるイベントをもっとやった方が良いと思う。
- ・ビンゴ大会を開催してほしい。
- ・インスタ映えするような写真撮影ブースをつくりイベントを拡散してもらえると良いと思う。
- ・体験型イベントをもっと増やしてほしい。(同様2通)

### 5. 出店希望

どちらでもよい	屋外(必須)	屋外が良い	屋内(必須)	屋内が良い
2	10	5	0	9

### 6. 砂利駐車場へのテント設置について

出店できる	出店できない	無回答
8	16	3

### 7. その他意見など

- ・飲食、休憩スペースを増やしてほしい。(同様2通)
- ・シャトルバスを運行してほしい。
- ・来年も、駐車場が多くあるところで実施してほしい。(同様3通)
- ・他のイベントと日程が重ならないようにしてほしい。(同様2通)
- ・屋外テントのレイアウトを変更してほしい。(同様2通)
- ・屋内の出店スペースがあいまい。区切りをしっかりとしてほしい。

